

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

# 彩の国ペタンク通信

第75号

編集 埼玉県ペタンク・ブール連盟  
企画・編集 広報部(森)  
連絡先 048-572-1885  
Mail: petamori1885@gmail.com

## 第1回埼玉県テイル選手権大会



優勝 太幡菊男(中央)

3位: 高鳥宣正(左) 2位: 塩田邦彦(右)

令和3年10月17日、上尾市「上平広場」で第1回埼玉県テイル選手権大会が行われた。決勝戦では、秩父の太幡選手と坂戸の塩田選手の一騎打ちとなり12対8で太幡選手が競り勝って初代チャンピオンとなった。

「コロナ感染非常事態宣言は解除されましたが、受付時では体温チェック、手指消毒液を用意し、万全な感染予防対策をおこない大会が開始された。」

今大会2週間前には、スタッフが集まり「コロナ対策及び競技運営の方法についてのシミュレーション」を入念に行って大会当日を迎えた。

さて、大会には、男性23名、女性5名、総勢28名の選手と24名のスタッフが参加して開始されたが、当日の天候は朝からの冷たい雨となり、選手の手元が狂って思うように点数が上がらず苦戦の様子が伺えた。

大会ルールは国際基準種目アトリエー5までを4つの距離から計20球を1セットとして2セットを投げ合計点の上位8名が決勝トーナメントに進出し初代チャンピオンを目指した。

午後からの決勝トーナメントが開かれる頃からは天候も回復傾向になり、予選上位者が順当に勝ち進み、決勝戦では予選3位の太幡選手と予選2位の塩田選手の対戦となった。

### 3名の方からコメント

#### ◆優勝 太幡菊男

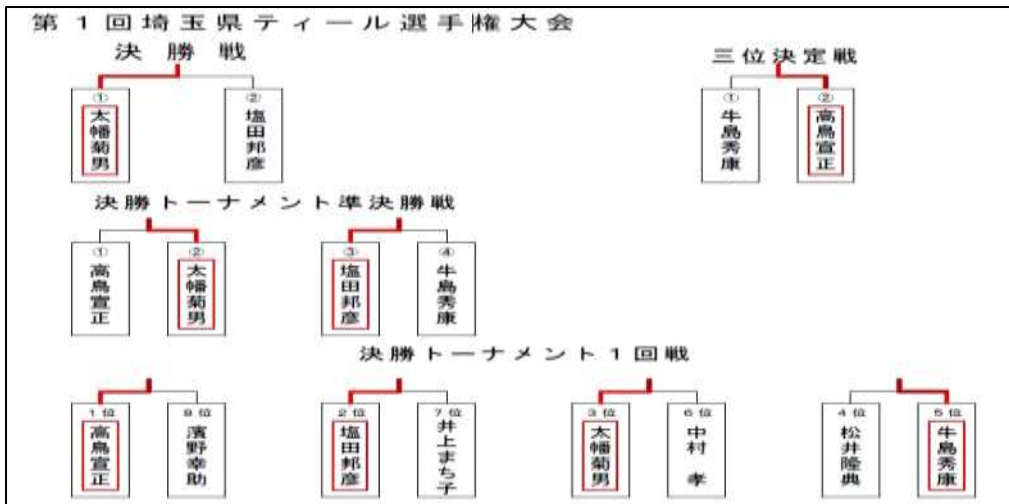
新型コロナウイルスの感染拡大のために、県内での久しぶりの大会、第1回埼玉県テイル選手権大会で優勝できたことは大変名誉なことです。喜んでいきます。これで埼玉県ナンバーワンとなりました。次は全日本テイル選手権に向けて毎日練習を積み重ね、日本一を目指したいと思います。その夢のさらに先、最後はやっぱり世界一のティラーかな。ともかくこれからも誰にも負けない練習量で頑張ります。

#### ◆準優勝 塩田邦彦

2位の結果には、自身驚いています。練習する時間が余りないので短時間集中してできたのが良かったようです。次の大会も参加予定していますので、良い成績が残せるよう頑張ります。今大会は、年配者が多く参加していたのが印象的でした。

#### ◆3位 高鳥宣正

ペタンクの大会がコロナの影響で出来ず久しぶりの大会となりました。練習不足と雨と寒さで身体が固くなってしまいました。最後の試合はベストを出せました。来月の全日本大会に向けさらに練習します。



●決勝トーナメント進出者と結果

- 予選順位順
- 1位 高鳥宣正、2位 塩田邦彦
  - 3位 太幡菊男、4位 松井隆典
  - 5位 牛嶋秀康、6位 中村孝
  - 7位 井上まち子、8位 濱野幸助

●下位トーナメント結果

予選順位9位から24位

下位トーナメント決勝戦は坂戸の泉選手(写真左)と上尾の杉谷選手(写真右)の戦いとなり、予選11位の杉谷選手が1位になった。



「あなたの思い出の一枚」

「新コーナーを設けました。」

「あなたの思い出の一枚」というコーナーで、皆さんの思い出に残っている写真を誌上で紹介させていただきます。写真をコメントと共に左記のアドレスに送ってください。

[Petamor1885@gmail.com](mailto:Petamor1885@gmail.com)

※ペタンクに限ることはなく、旅先、お祝い、記念日など、かけがえない日に映した、あの時の写真を。



江南ペタンククラブ  
森 信介さんの一枚



平成27年(2015年)に岩手県平泉で開催されたペタンク大会に参加、岩手日日新聞の朝刊に掲載されたものです。妻とペアで参加した大会で初めて入賞した大会だったので思い出が深いですね。

後日、主催者のご厚意で新聞社から載った写真を送っていただきました。届いた時は驚きでうれしかったです。ありがとうございました。